

一般社団法人バス協調・共創プラットフォームひろしま年度事業計画

(令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日)

●基本方針

目指すべき姿の実現に向け、広島市及びバス事業者との連携の下、経営計画に掲げる共同の取組を着実に進める。

●主な事業

単位：千円

| 項目 | 内容 | 予算額 | 市 負担額 | 事業者 負担額 ※8 社合計 |
|---|---|--------|----------|----------------------|
| 【戦略1】 利用者目線での徹底した利便性向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・相生通りを中心に都心部のバス停の集約等を進めるとともに、ストレート化や空間整備、定時性・速達性向上策等の企画立案に取り組む。 ・バス停の利便性向上を図るため、バスロケーション表示機について多言語化等の高度化と合わせた更新を行う（令和7年度事業の再計上）。 | 37,992 | 36,692 | 1,300 |
| 【戦略2】 潜在的あるいは新たな移動需要の掘り起こしと利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン運賃やダイナミックプライシングなど新たな運賃制度の導入に向けた企画立案を行うとともに、短期の利用促進策についてデータ分析結果や収支予測を踏まえて順次実施する。 | 2,360 | 1,180 | 1,180 |
| 【戦略3】 需要に応じたサービスを安定的に共有できる持続可能なバスネットワークの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・「方面別の運行適正化」について必要に応じて実証運行を行うなど、運行計画がまとまった方面から再編に順次着手する。 ・中心部の新たな循環線等の導入や幹線軸の共同運行化などを図るため、データ分析やシミュレーション等を踏まえながら企画立案に取り組む。 | 67,000 | 67,000 | 0 |
| 【戦略4】 運転者の安定的確保やリソースの共有等による経営の安定化 | <ul style="list-style-type: none"> ・運転体験会や企業説明会を開催するなど、国や市と連携した人材確保・定着の取組を実施する。 ・運転体験会等で使用する教習車両について必要な改修を行う。 ・外国人バス運転者の受け入れ拡大に向けた企画立案に取り組む。 | 3,046 | 2,523 | 523 |

| | | | | |
|--|---|---------|---------|-------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新技術の導入や新たな設備投資に係る事業者の負担軽減を目的として、EVバス車両及び充電設備を導入する。 ・基幹バスを中心に、運転者・車両の相互活用について具体的な検討を行うほか、路線再編に合わせた車庫や休憩施設等の共同利用を進める。 ・運転者教育や物品類の調達業務、その他バックオフィス業務について、共同化に向けた企画立案に取り組む。 | 159,898 | 159,898 | 0 |
| 【戦略5】 利用者とのコミュニケーションの強化による信頼関係の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを捉えた戦略的な広報活動を実施するため、ウェブサイト等の広報媒体の構築等に取り組むとともに、基幹バスのブランド化に向けた企画立案に取り組む。 | 2,200 | 1,100 | 1,100 |
| 【戦略6】 将来を見据えた新技術等の導入と災害時等におけるレジリエントなシステムの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・レベル4での自動運転の早期実現を図るため、広島市と連携してレベル2での実証運行を行うとともに、事業者間での知見等の共有と先行事例を踏まえた他地区への展開を検討する。 | 121,666 | 121,666 | 0 |
| 計 | | 394,162 | 390,059 | 4,103 |

●法人運営

(1) 会議

社員総会：5月、3月（予算・決算に係る承認）

理事会：5月、3月

（予算・決算に係る承認等）

経営会議（毎月）

社長会（適宜）

(2) 事務局

事業計画に定めた事務を実施する。

事務局職員は広島市及びバス事業者からの派遣職員が当たる。（計12名）。

